仕事のUSB 持ち出しと返却

購入前と、持ち出す前の確認

このシートにパスワード・PINそのものを書き込まないでください。

購入前に確認する

☐ USBで渡す必要があるか、相手と確認した。

☐ 相手のパソコンでUSBの利用が許可されている。

☐ 自分・相手のOSと、USB-A／USB-Cの端子を確認した。

☐ 解除ソフトが必要か、保存したデータが自動暗号化されるかを確認した。

☐ パスワードを忘れたときの条件を公式説明書で確認した。

初回は、練習用ファイルで試す

顧客情報を含まないファイルで、設定→解除→コピー→保存→安全な取り外し→再接続と再認証を試します。初期化・消去の表示が出たら、中のデータと説明書を確認するまで進めません。

出かける前

☐ 必要な資料だけをコピーした。原本と予備は別に残した。

☐ 以前の案件など、不要な資料が入っていないか確認した。

☐ USB本体や同じケースにパスワードを貼付・同封していない。

☐ ロック状態と、保管するバッグの場所を確認した。

今回の持ち出しメモ

持ち出す日：_____ 戻す予定日：_____

USB管理名：_____

持参先／用途：_____

資料の範囲：_____

暗号化は紛失時の読み取り対策。予備の保存や接続先の確認も必要です。

仕事のUSB 持ち出しと返却

商品ごとの使い方の入口

正確なボタン操作は、購入品の型番・版に対応した公式説明書で確認します。

A I-O DATA ED-E4/R

1. 対応するパソコンにUSBを接続。製品内の起動用ソフトからSUGate4を開きます。WindowsはStart.exe、MacはStart_Mac.appが説明書で案内されています。
2. 初回はパスワードを設定し、ログイン。次回以降は設定したパスワードで認証します。
3. 認証後の保存領域に、持ち出す資料をコピーします。
4. 保存してファイルを閉じ、製品の説明書に沿って安全に取り外します。

注意：初期化ソフトSUReset4はWindows用です。パスワードを忘れた場合は初期化が必要で、保存データは削除されます。Macだけで使う方は復旧時の条件も確認を。

公式取扱説明書を開く（I-O DATA）

B Kingston IronKey Keypad 200

1. 初回は公式ガイドに従って充電し、PINを設定します。管理者・ユーザーの使い分けも確認します。
2. 本体のキーでPIN認証して解除し、対応するパソコンに接続します。
3. 必要な資料をコピー。終わったら保存してファイルを閉じ、安全に取り外してロックします。

注意：PIN入力を繰り返し試さないでください。設定構成によってロックやデータ消去の条件が異なります。管理者PINを設定しても、すべての紛失・失念を救済できるわけではありません。

公式製品ページ・サポートを開く（Kingston）

仕事のUSB 持ち出しと返却

使い終えた後と、もしもの確認

相手のパソコンへコピーしたファイルは、USBのロックでは保護されません。

使用が終わったら

☐ 必要な資料だけを相手に渡した。

☐ 編集した内容を保存し、ファイルを閉じた。

☐ 製品の説明書に沿って安全な取り外し・ロックを行った。

☐ USBを回収し、いつもの場所にしまった。

帰ったら

☐ USBが手元にあることを確認した。

☐ 更新した資料を、必要に応じて元データや予備へ反映した。

☐ 不要になった資料を整理し、次回持ち出す範囲を確認した。

見つからないときに整理すること

最後に使った日時・場所：_____

中に入っていた資料：_____

ロックやパスワード管理の状況：_____

連絡した相手・相談先：_____

パスワードを思い出せないとき

むやみに繰り返し入力せず、製品の公式サポート・説明書を確認します。初期化は中身を復元する操作ではありません。手元の予備が使えるかを先に確認します。

対応を判断するとき

暗号化されていたことだけで、連絡や対応が不要と決めつけません。入っていた情報、設定状況、取引先との契約、自分の事業の手順を整理して相談します。

出典：I-O DATA ED-E4/R公式仕様・取扱説明書／Kingston KP200公式資料